

みでの

永平寺
町議会
だより



第64号 INDEX

令和3年10月15日発行

年間テーマ中間報告 P7

そこが聞きたい!

議員12人が一般質問 P8~14

議会活動レポート P14



押してね!

永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索



天龍寺
写真提供 匿名希望さん

五領川公共下水道事業事務組合共同化取組・下水道台帳整備負担金	1,385万円
県単土地改良事業割当額増額補正	700万円
上志比デイサービスセンターポイラー老朽化地下タンク撤去および設置工事	239万円
松岡福祉総合センター自動火災報知機取り換え	220万円
環境保全型農業直接支払対策事業補助金増額補正	63万円
子育て支援夜間・短期入所保育事業委託料増額補正	17万円
防犯カメラ設置補助金増額補正 (6件→7件)	11万円

後期高齢者医療特別会計
減免還付金

50万円

下水道事業特別会計
台帳作成費振替

△1,373万円

農業集落排水事業特別会計
台帳作成費振替

△429万円

共生

問 公共施設バリアフリー化の年次計画は把握している。必要な

答 公共施設バリアフリー化の年次計画は、それぞれ所管課が把握している。必要な

問 定年延長の制度設計を業者に委託するというが、どの部分を委託するのか。

答 当町の現状に合わせてどのような制度設計が必要かを専門のコンサルに依頼しつつ、関係省庁・各自自治体の情報を取り入れながら条例制定に向けて進めていく。

問 定年延長が70歳までとはうたわれていない。あくまでも65歳。当町としては2年毎に1歳ずつ、65歳まで引き上げていく。

問 定年延長の制度設計を業者に委託するというが、どの部分を委託するのか。

答 当町の現状に合わせてどのような制度設計が必要かを専門のコンサルに依頼しつつ、関係省庁・各自自治体の情報を取り入れながら条例制定に向けて進めていく。

空き家

問 今後準老朽空き家の解体は増加することが予測されるがどう考えているか。

答 準老朽空き家が2件から4件追加の6件、老朽になる前の準老朽空き家は今後増加すると予測しており、当初予算で計上していきたい。

問 松岡公民館では障がい者用のトイレ等のスペースを作ったが、本庁の障がい者用トイレは分かりやすくしているか。

答 本庁の障がい者用トイレは車椅子用のトイレと合わせてベビーベッドの設備も整ったトイレを設置している。

コロナ

問 申請の流れは今要綱を作成中だが、県に申請↓県が交付↓通帳等にて交付確認により町が交付。という流れになっている。

問 申請の流れは今要綱を作成中だが、県に申請↓県が交付↓通帳等にて交付確認により町が交付。という流れになっている。

コロナ

問 コロナ感染発症横断幕など設置個所の詳細は、災害時の「無事旗」のようにステッカーなど全戸配布できないか。

答 横断幕は住民に見える位置に設置する。あらゆる媒体を使用して感染症対策の徹底を図りたい。各家庭にということろは検討する。

主な質疑応答

一般会計補正予算 第1審議

◆総務課

問 定年の引き上げについて具体的にどうなっていくのかを示して欲しい。

答 今回新たに制度設計するもので、今後どのような制度設計にするか作業を進めていく。

問 最近、定年延長が70歳と聞く。国の方針と町の基本的な方向性を示してほしい。

答 定年延長が70歳までとはうたわれていない。あくまでも65歳。当町としては2年毎に1歳ずつ、65歳まで引き上げていく。

問 定年延長の制度設計を業者に委託するというが、どの部分を委託するのか。

答 当町の現状に合わせてどのような制度設計が必要かを専門のコンサルに依頼しつつ、関係省庁・各自自治体の情報を取り入れながら条例制定に向けて進めていく。

問 公共施設バリアフリー化の年次計画は把握している。必要な

答 公共施設バリアフリー化の年次計画は、それぞれ所管課が把握している。必要な

問 定年延長の制度設計を業者に委託するというが、どの部分を委託するのか。

答 当町の現状に合わせてどのような制度設計が必要かを専門のコンサルに依頼しつつ、関係省庁・各自自治体の情報を取り入れながら条例制定に向けて進めていく。

問 定年延長が70歳までとはうたわれていない。あくまでも65歳。当町としては2年毎に1歳ずつ、65歳まで引き上げていく。

問 定年延長の制度設計を業者に委託するというが、どの部分を委託するのか。

答 当町の現状に合わせてどのような制度設計が必要かを専門のコンサルに依頼しつつ、関係省庁・各自自治体の情報を取り入れながら条例制定に向けて進めていく。

問 申請の流れは今要綱を作成中だが、県に申請↓県が交付↓通帳等にて交付確認により町が交付。という流れになっている。

問 申請の流れは今要綱を作成中だが、県に申請↓県が交付↓通帳等にて交付確認により町が交付。という流れになっている。

問 コロナ感染発症横断幕など設置個所の詳細は、災害時の「無事旗」のようにステッカーなど全戸配布できないか。

答 横断幕は住民に見える位置に設置する。あらゆる媒体を使用して感染症対策の徹底を図りたい。各家庭にということろは検討する。

令和3年 第5回定例会報告

議長 奥野 正司

令和3年第5回永平寺町議会定例会は、8月30日（月）から9月17日（金）まで19日間開催されました。審議された内容は次のとおりです。

令和3年度 7月1日専決補正予算審議報告

【主な項目】 衆議院議員総選挙システム導入費 460万円
集团接種会場増設費 712万円

専決補正予算
総額 **1,401万円**

令和3年度 7月21日専決補正予算審議報告

【主な項目】 四季の森敷地内排水管つまりによる施設内浸水復旧費 110万円

専決補正予算
総額 **111万円**

令和3年度 8月10日専決補正予算審議報告

【主な項目】 永平寺町みんなのスタンプラリー(第3弾)事業補助金 2,418万円
永平寺町経営環境改善支援補助金 1,500万円

専決補正予算
総額 **3,918万円**

令和3年度 一般会計補正予算審議報告

【主な項目】 新型コロナウイルス感染症対策事業

一般会計補正予算
総額 **1億1,691万円**

永平寺町事業継続応援給付金

2,002万円



上水道基本料、メーター貸付料減免負担金(9月~11月検針分)

2,685万円



子ども見守り宅食支援事業補助金

175万円



新型コロナウイルス感染症対策啓発物製作費

81万円

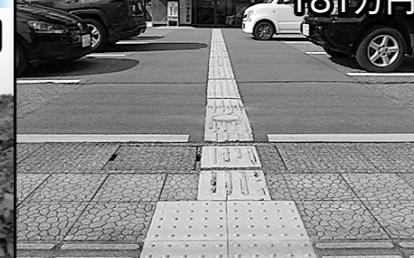
幼稚園幼稚園リフレッシュ
松岡東幼稚園擁壁補強工事

3,500万円



公共施設バリアフリー化推進費

4,311万円



道路除排雪機械整備費補助金

178万円



老朽空き家(5件分)解体撤去事業補助金

114万円



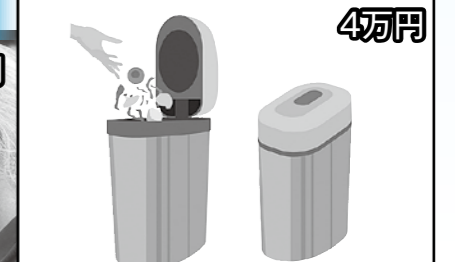
アーティスト滞在型活動支援事業補助金

50万円



生ごみ処理機購入補助金(2件)

4万円



議案への賛否討論

答 県の補助額は1か月に10万円、今年の1月から9月までのいずれかで50%減少の対象になれば対象となる月すべて、最大6か月、60万円支給される。県に申請していない場合も、売上減少が確認できれば町から交付可能。

◆建設課

防災

問 小型除雪機は申請多数のことだが、申請すればほぼ採択されるのか。

答 今年度において今のところ新たな申請はない。申請があったなかで1社は過去に実績がないため購入ではなく、リース車を貸し出すことにした。

問 旧県営住宅の管理者は誰か。また、他に同様の事例はないか。

答 建物は町の所有となる。石舟地区に1棟残っている。

問 旧県営住宅について、これまで借地料を支払っていたのか。

答 土地は返却済で支払っていない。

◆上下水道課

問 五領川公共下水道事務組合負担金はなぜ440万強の減額になるのか。

答 町単独で予定していた下水道台帳整備事業を組合合同で行うことで国の補助対象になる。

問 職員育成のために派遣をしたほうが良いと思うが、どのような考えか。

答 以前は職員を派遣していたが、現在は職員交流を深めることで話し合っている。

◆福祉保健課

コロナ

問 子ども見守り宅食事業の実施団体が増えたことで、対象地域は拡大するのか。

答 今までの団体は上志比地区、新団体は松岡中心と一部永平寺地区で活動するが、明確にすみ分けするものではない。

問 子どもを見守るため、団体の役割や行政との連携について説明を求む。

答 地域の方が、食事配食や学習支援を通して、子どもの異常に気付いたら報告をいただく。その後、専門機関が動くことになる。

問 老朽化した地下タンクは、上志比デイスターにもあるのか。

答 福祉保健課所管の施設では、松岡デイスターと永寿苑にある。

◆子育て支援課

問 東幼児園は擁壁工事を行うことで、住民の避難所になるのか。

答 この擁壁は、議会の要望で再調査し、河岸浸食への対応も含めて補強する。河川氾濫に対し早め早めの避難も重要となるので、近くの民間施設と避難所の協定を結んでいる。

議案第68号

令和3年度

一般会計補正予算について

反対討論

上田 誠

住民生活を守るためのコロナワクチン接種、町内各事業者への支援金、上水道基本料金の減免等、反対するものではないが、東幼児園擁壁補強工事ではなく、立地の安全面（九頭竜川の浸食地区）から再考を主張してきた。安全向上の補強であるが、松岡地区3園の再編では場所移転（より安全面利便性利便面から）を基本としているため反対する。

賛成討論

江守 勲

この補正予算は、コロナ対策・視覚障がい者用床タイルなど公共施設のバリアフリー化、子ども見守り宅食サービスなど住民福祉に直結する予算。また、松岡東幼児園の擁壁補強工事は、行政と1つ1つ丁寧な議論し議会意見として更なる安全確保の予算であり賛成する。

反対討論

長岡千恵子

松岡東幼児園に入園希望者が少ないのは、0歳児の受入をしていないだけでなく、東幼児園の立地に不安を感じているからである。近くに避難場所を確保したことは前進。行政も安全性に不安があるのでないか。現状、在園児がいるので今回の擁壁補強工事は必要と思うが、補強工事ではなく園そのものの移転が必要と考え反対。

賛成討論

川崎 直文

新型コロナウイルス感染対策として、予防の啓発、売上げが減少した事業者への支援、町民の生活支援の上水道基本料金の減免は継続して実施すべき。

松岡東幼児園の擁壁補強工事のルートパイル工法、追加の石積部のもたれ式工法は適切であることを確認した。この工事は早期に実施すべき。

これらを計上した補正予算について賛成。

請願第1号

新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願書について

賛成討論

金元 直栄

米価暴落のこの時に、農業5団体が国に要求しているから、他に国への意見など必要ないとか、こんな時はアメリカから米の輸入は止めると。外交問題に口出しすることは地方に認められないなど、議会の保守系は言うが、この大変な時にあれこれ言い、代案も示さずに否決とはひどい話だ。

米価暴落へ国の対策を求める請願には賛成だ。

反対討論

川崎 直文

新型コロナウイルス感染拡大による米の需要減対策や国際的な約束に基づき20年以上前から輸入しているミニマムアクセス米の輸入数量の調整については、国策として国が適切に対応すべきもので、議会として意見すべきでない。不採択とする。



賛成討論

上田 誠

新型コロナウイルス感染の拡大は、経済に影響し種々の支援対策が講じられている。米価は暴落し農業者経営は窮迫している。米農家の救済と地域経済面からも、国内産米優先の米政策が必要。米需要の消滅により過剰在庫の買い入れ、生産調整の回避、買い上げ米の生活困窮者への食料支援の活用を求める請願に賛成する。

第4回定例会議案

報告第2号 令和2年度財政健全化判断比率等の報告について	報告	議案第73号 損害賠償の額を定めることについて	可決
諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任	議案第74号 損害賠償の額を定めることについて	可決
諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任	議案第68号 令和3年度一般会計補正予算について	可決
承認第3号 手数料徴収条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認	議案第69号 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決
承認第10号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第70号 令和3年度下水道事業特別会計補正予算について	可決
承認第11号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第71号 令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決
承認第12号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第72号 令和3年度上水道事業会計補正予算について	可決
承認第14号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	請願第1号 新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願書について	否決

議案への賛否一覧

議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席）※議長（奥野正司）は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第68号	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛
請願第1号	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等14件については全員賛成です。

GIGAスクール

特集

教育民生常任委員会
事務事業評価検証より

教育コンピュータ整備事業

	小学校	中学校	
令和2年	6,583万円 (国・県支出分3,823万円) ・児童2/3分 ipad638台整備 ・GIGAスクールサポーター その他、通信料・保守料・ ソフト使用料・教員用PC リース料、wifi整備料等含む。	3,477万円 (国・県支出分2,026万円) ・生徒2/3分 ipad339台整備 ・GIGAスクールサポーター その他、通信料・保守料・ ソフト使用料・教員用PC リース料、wifi整備料等含む。	・R元年度～中学校2・3年、小学校5・6年生+教員に配備。小学校は学校により3～4年に配備していたところもある。 ・GIGAスクールサポーター運営委員会によりICT研究会を企画・運営。 ・タブレット活用支援員が各校に調査訪問支援。困り感のある学校を重点的に支援。
令和3年	5,746万円 ・児童2/3分 ipad425台整備 ・GIGAスクールサポーター その他、通信料・保守料・ ソフト使用料・教員用PC リース料、wifi整備料等含む。	3,051万円 ・生徒2/3分 ipad147台整備 ・GIGAスクールサポーター その他、通信料・保守料・ ソフト使用料・教員用PC リース料、wifi整備料等含む。	・5月27日に残り3分の1を全員配備。 ・研究会→Eまなびの会として継続。(学校教育課2人、各学校から1人、詳しい教員、タブレット活用支援員にて構成される) ・コロナで集まれないときはオンラインにて運営委員会・研修会開催。校長会もオンラインで回数を増やしている。

視察して気づいたこと

- ・ネットの活用や、表現することをタブレット活用に上手に取り入れている。
- ・子どもたちがお互いに操作を教えあっている。
- ・子どもたちの操作が速い。
- ・小6でパワーポイントによるプレゼンテーション授業などレベルが高い。

課題

- (1) ハード面：LTEで3GB制限。ソフトのアップデートで容量がかかるときは教務用wifi使用。手間がかかる。LTEの契約の切れる5年後に再検討。
- (2) 活用面：オンライン授業のための持ち帰り。wifiのない家庭37件、wifi制限のある家庭100件以上。

議会からの意見

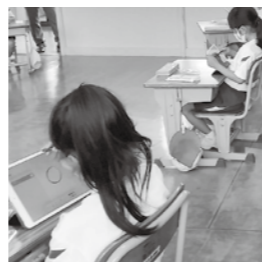
- ・学童支援制度を活用し、wifi環境ない家庭への整備は考えられないか。
- ・コロナ休校になると児童クラブに行くことになるので、児童クラブにwifi整備してはどうか。
- ・健康上の課題：斜視、ストレートネック、姿勢、腱鞘炎などの問題を保健体育の授業で教えては。
- ・環境格差の埋め方、配慮できないか。→グループで教えあうような体制はとられている。
- ・PCや社会で汎用性の高いOSに対応できるような教育も視野に入れて。

どんなふうに使ってるの？

- 各授業：今年から教科書についているQRコードの活用。
理科：雲の研究で画像を撮る
社会：選挙や国会をインターネットで検索
算数：解き方の共有化
道徳：リテラシー教育
- 中学校はoffice365でエクセル・ワードを活用。
- NHK for スクールの視聴。
- teams・formsを活用し遠隔会議などの訓練を行い、コミュニケーションを深める。
- 特別支援：「デイジー教科書」アプリが学習支援効果あり。
- 今後はインターネット教材の活用を検討中。

コロナ下での活用は

- ・休校を想定し、オンライン授業のシュミレーションを校内で行っている。
- ・不登校児童などオンライン授業に活用。



次回は指導主事訪問による授業公開に合わせ、中学校視察を予定しております。

常任委員会報告

陳情第1号は採択、請願第1号は不採択

総務産業建設常任委員会

委員長 酒井 秀和

9月13日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

1 本定例会委員会付託議案(2件)

陳情第1号

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

【意見書趣旨】

2022年度の政府予算、地方財政にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめぐすよう政府に対し意見書の提出を陳情するもの

【主な意見】

新型コロナウイルス感染症対策で即時対応が求められる中、通常の行政サービスも対応する必要があり、地方の財源確保を求めることは極めて重要である。

【採択の結果】

全員賛成で採択

請願第1号

新型コロナ禍によるコメの需給

悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願書

【意見書趣旨】

米価下落が懸念される中、過剰在庫は国が責任をもって対策を取る必要がある。国内需給に不要なミニマムアクセス米の輸入数量調整が必要ことから政府関係機関に請願するもの

【主な意見】

農業者の経営と地域経済を守る施策は米価下落の解消だけでなく、農業の生産基盤強化や担い手の創出など幅広く有効な施策が必要である。ミニマムアクセス米は外交に伴う国策であり町議会の権限には属さない。

【採択の結果】

賛成1名、反対5名で不採択

2 その他協議事項

① 実災害時の議会対応について
災害対策支援本部は災害が発生し、議長が必要と認めた場合に設置する。

コロナ感染症対策の現況等について

教育民生常任委員会

委員長 金元 直栄

当委員会は定例会開催中の9月13日、全員参加で開催された。

感染再拡大の中、学校の夏休み明けとなり、緊急の案件として町の取り組みを確認するため、久しぶりに担当課長らの揃う委員会となった。

【質問項目】

- 1) 学校教育課① コロナ等感染症についての学校教育は。② 親がワクチン接種で発熱した場合の子どもの学校出欠は。③ 濃厚接触や感染等による学校欠席の扱いは。④ 待機部屋稼働状況。⑤ 不登校児童や病弱児童へのオンライン授業対応は。⑥ 修学旅行、自然教育、部活動への対応。⑦ 9月からの状況と、差別的なことはないか。⑧ 休校時の保護者支援助成金の周知は。⑨ その他、学校のトイレに生理用品の配備状況の取り組み。
- 2) 福祉保健課① 特別児童扶養手当のバラツキについて。

【主な回答】

- 1) 学校教育課① 予防接種等は学校教育の中で教えられている。② 機械的な判断はしていない。③ 出欠は保健所の指示により、欠席扱いはしていない。④ 利用は多いわけではない。

【その他】

議会だより特集テーマ、LGBTの学習会について。

② 福祉保健課① 町は申請受付。県の審査判定会で判断する。

⑤ タブレットの持ち帰りを希望により行なっている。⑥ リスクを小さくして対応。⑦ 8月、2名の発症があったが、大きな問題はなかった。今後は学校の公表もあり得ることから、差別・いじめが起らないよう一層注意したい。⑧ 状況によって検討。⑨ 以前より保健室に置いてある。保健の先生に相談できる環境こそが大事。



問&答

そこが聞きたい!

9月定例会 一般質問

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

伊藤 博夫 … 8P	朝井征一郎 … 9P	長岡千恵子 … 9P
川崎 直文 … 10P	江守 勲 … 10P	酒井 秀和 … 11P
齋藤 則男 … 11P	松川 正樹 … 12P	上田 誠 … 12P
滝波登喜男 … 13P	金元 直栄 … 13P	酒井 和美 … 14P

一般質問 目次

問 永平寺町長選再出馬について

答 3期目もしっかりと町政を担う

問 町長は理事者と議会との二元代表制や議会基本条例について、実務で経験を生かし議会には、予算や各事業の詳細説明を丁寧に行っている。これまで町の政策を通して、躍動感あふれる「強い永平寺町」を創り上げ、新しい時代にマッチした活力あるまちづくりを進め、幼児から高齢者まで、住んでいて安全で安心な永平寺町であるとの多くの町民が評価しているとの認識している。今後、令和5年4月1日に開設予定の松岡小学校区3園（東・なかよし・新設私立幼稚園）や、小・中学校の再編、「第2期まち・ひと創生総合戦略」、「第二次総合振

興計画」に掲げた、10年間のまちづくり指針となる施策を実現するため再出馬について、町長の思いは。

町長 これまで町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、7年半町政発展のため、そして町民の幸せ、生命、財産を守るため全力で取り組んできました。今、地方、本町を取り巻く環境は物すごいスピードで大きく変化している。少子高齢化による人口減少社会、福祉、子育て支援、教育環境、地域連携、企業誘致、持続可能な社会、共生社会、農業、商業、工業、観光、地方創生、土地利用、企業誘致、老朽化するインフラの整備、デジタ



伊藤 博夫 議員

ル化、環境問題、防災・防犯対策、そして喫緊の課題であるコロナ対策と、現在多くの事に全力で取り組んでいる。道半ば、志半ばのものも多くある。引き続き3期目もしっかりと町政を担わせていただき、町民のため、一生懸命働かせていただきたいと思います。



永平寺町役場

問 結婚生活の支援、充実を

答 結婚新生活支援事業補助金等活用して



朝井征一郎 議員

問 若い世代の移住・定住を促進するため、結婚に伴い移住してきた世帯に、新居の家賃や引っ越し費用の一部を助成する結婚新生活支援事業で新婚世帯の支援充実を。町の人口減少を食い止め、増やすとともに検討しないと減少する。町では、新婚生活を応援する事業、移住者にどのような支援、補助を。

総合政策課長 町で今実施している移住、定住の支援事業としての支援、補助は、夫婦ともに39歳以下で、所得の合計が400万円未満世帯の引っ越し費用などを支援する、町結婚新生活支援事業補助金。

井県内に移住している方が新規雇用、要は就業に伴い移住してくることを条件に50万円を支援する、町移住就業等支援金。また、新規に住宅を取得し、転入してくる方に住宅支援金、子育て支援金として補助する住まいる定住応援事業助成金を実施。

問 宅地造成して町が住宅を建てて新婚さ

んに10年間家を賃貸して、その後、売買するか、継続して賃貸するか。人口増にもなり、税の収入にもなる検討しては。

町長 この人口減少社会の中で、こういった対策をしていくことが、大事なことだと思う。町では社会増減の中で、いろんなことに取り組んだこととして、結果として出ること、情報発信であったり、こう言った補助など、また、いろんな施策とどう結びつけることが大切で、ご提案いただいたこともしっかりと、検討材料にさせて頂き、研究をしてきたいと思う。

問 コロナ禍で二クラスの人員緩和を

答 高学年はオンライン、低学年は対面分割



長岡千恵子 議員

問 小学校の二クラスの児童数は35人、中学校は32人。この人数の解釈は。

教育長 学級編成および教職員定数の標準に関する法律で規定。

問 一クラス35人の児童や32人の生徒が密集している。これに対して何らかの緩和は考えられないか。

教育長 人数の基準は厳守。その中で感染防止対策が重要。

問 コロナ感染症が拡大して休校になった場合はオンライン授業を準備しているという報道を聞いた。オンライン授業は中学生になると可能と考えるが小学校の低学年では難しい。高学年は学年閉鎖でオンライン。低学年

は学年閉鎖の高学年の教室を利用して一クラスの人数を少なくして対面授業をすることが可能では。

教育長 学級や学年閉鎖の場合、低学年の分割授業は可能。

問 学校のあり方検討会のアンケートで、一クラスの望ましい人数は20人との回答者が多数。一クラス20人を構築してはどうか。新設の子ども園についても一クラスの園児数は20人に見直すべきでは。

子育て支援課長 各保育室は基準よりやや広めに設計。感染リスクを抑える対策をしている。

教育長 県は認められないとの回答。

提案 コロナ感染症

対策について意欲的な方針を示されている知事ですからご理解いただけるのでは。



問 災害避難時の要支援者登録。その活用は。

答 要支援者のスムーズな避難と福祉避難所利用者の名簿作成。

問 将来を踏まえてお館の木の存続は。

答 苗木2本が古木の根から出たとの確認が取れば分離して別の場所です育てる。将来に繋げる。

3年以上連続して福



上志比地区宅地分譲

新型コロナウイルス対策の政策提言の実行

アフターコロナも含め「コミュニティ活動を再開



川崎 直文 議員

問 「新型コロナウイルス感染症に関する永平寺町生活実感調査」報告書の5つの政策提言(①包括的な孤独・孤立対策の実施②文化・芸術分野と創造性支援の重点化③寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)の視点強化④施策認知度向上のためのメディア活用戦略⑤生活実感調査の継続実施及び政策反映)の実行は。

多様な人が認め合って活躍できるまちを目指し策定する。

と人とのつながりに発展することを期待している。

答 アフターコロナも含め「コミュニティ活動を再開

総合政策課長 提言のデジタル機器活用講座は、高齢者中心にスマホ活用講座を引き続き開催する。

【その他の質問】永平寺町四季の森複合施設の利用状況、利活用促進は、レンタルオフィスへ予定より遅れ10月頃から企業が入室。施設利用料は目標の261万2千円/年は下回る。

生涯学習課長 アフターコロナも含め公民館活動、スポーツ活動、地域活動など滞ったコミュニティ活動を再開。新たな文化・芸術に触れるワークショップ、展示会を開催。

男女共同参画計画は、寛容性の視点で、

全国に coworking space を手がける「株式会社いいオフィス」との連携。町内学生の利用、企業研修、ワークショップでの利用。

活動、スポーツ活動、地域活動など滞ったコミュニティ活動を再開。新たな文化・芸術に触れるワークショップ、展示会を開催。

男女共同参画計画は、寛容性の視点で、



四季の森複合施設

町長2期目の取り組み状況は

答 未来を見据えた予算執行に努めている



江守 勲 議員

問 町民福祉の向上、安全安心を充実するためインフラ整備を進めてきた。財政面でも地方債残高の抑制や、財政調整基金の積み増しをされた事は大きな評価。今後の考えは。

町長 住民の皆様の幸せ、安全安心と町の発展を大前提とし、未来を見据えた予算執行に努めている。

問 町立診療所開設、近助タクシー実用化、災害時の福祉避難所整備など、更なる福祉向上への考えは。

町長 永平寺町らしい取り組みとして、町立診療所、近助タクシーなど新しいサービスを色々な形で展開し、住民の声を聞きサービスを向上させる事が大事。

問 コロナ対策の素早い対応をされているが、先が見通せない現状である。今後の対応は。

町長 住民や団体の皆さんの声を聞き、色々なアイデアや提案ももらい、即実行できた。町全体で取り組んだ一

事。引き続き福祉にもしっかりと取り組む。

問 平成27年度は転出超過約100人、令和2年度で5人増。今後の、移住・定住への取り組みは。

町長 町の発展には企業誘致は大きな武器となる。町で1つの都市計画作りに向け、県から専門職員を派遣してもらい取り組んでいる。

問 町立診療所開設、近助タクシー実用化、災害時の福祉避難所整備など、更なる福祉向上への考えは。

町長 永平寺町らしい取り組みとして、町立診療所、近助タクシーなど新しいサービスを色々な形で展開し、住民の声を聞きサービスを向上させる事が大事。

町長 住民や団体の皆さんの声を聞き、色々なアイデアや提案ももらい、即実行できた。町全体で取り組んだ一

指標	令和2年度(前年度)	令和2年度(前年度)	令和2年度(前年度)
経常収支比率	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(一般会計)	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(特別会計)	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(基金)	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(総合)	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(平均)	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(標準)	100.0	100.0	100.0
経常収支比率(目標)	100.0	100.0	100.0

永平寺町の健全な財政状況

町長 永平寺町らしい取り組みとして、町立診療所、近助タクシーなど新しいサービスを色々な形で展開し、住民の声を聞きサービスを向上させる事が大事。

町長 住民や団体の皆さんの声を聞き、色々なアイデアや提案ももらい、即実行できた。町全体で取り組んだ一

町長 住民や団体の皆さんの声を聞き、色々なアイデアや提案ももらい、即実行できた。町全体で取り組んだ一

【その他の質問】ふるさと納税の取り組み状況は。8月末現在、2,202万6千円。

施策認知度向上への取り組みは

職員一人ひとりが発信者となる



酒井 秀和 議員

問 2021年6月に福井県立大学地域経済研究所より5つの政策提言を含む「新型コロナウイルス感染症に関する永平寺町生活実感調査」報告書が提出された。この中で以前より指摘していた施策認知度向上のためのメディア活用戦略に注力した。実は永平寺町行政の広報活動については県内でもトップクラスと言えるほど実施されているが、中々住民に認知されないというのが課題になっている。今回の報告書でもコロナ対策に関する12事業のうち2つの事業の認知度が64%を超えているが、その他10事業については当事者以外に認知されなかったとい

うのが現状である。この現状を踏まえて、住民にとって有益な施策を認知していただくためにどう改善していくか。今後の対策は。

総合政策課長 これまで以上に幅広く周知できるように職員一人ひとりが発信者となる。

問 各地区区長会資料の宝くじコミュニティ助成事業8事業の詳細は。

総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。

問 コミュニティ助成事業②コミュニティ

総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。

問 コミュニティ助成事業③地域防災組織

総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。

問 コミュニティ助成事業④青少年健全育成助成

総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。

問 コミュニティ助成事業⑤共生の地域

総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。

問 コミュニティ助成事業⑥活力ある地域づくり

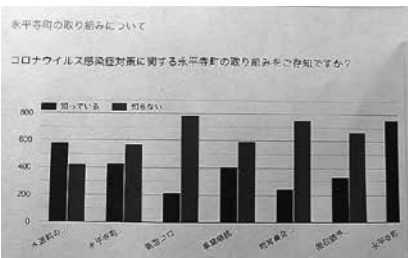
総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。

問 コミュニティ助成事業⑦地域

総合政策課長 ①一般

総合政策課長 社会情勢の変化に柔軟に対応する必要があるので、公益性・透明性を確保しながら適性な運用に努めていきたい。



新型コロナウイルス感染症に関する生活実感調査補助制度の認知度を示したグラフ

町長 高齢化社会の中で、皆が元気に生き生きと生活でき、支え合う仕組み。また、いざというときに頼れるところ、介護であった

町長 高齢化社会の中で、皆が元気に生き生きと生活でき、支え合う仕組み。また、いざというときに頼れるところ、介護であった



問 西幼児園の再利用は

答 多機能な防災公園を

問 西幼児園は令和5年の3月をもって63年の歴史に幕を閉じるが、閉園後の計画はあるのか。早くから住民の問い合わせや提案が相次いでいる。ある方は「椿公園が断然良い」と熱烈におっしゃる。本家の「お館椿」を守りながら、より立地条件の良い西幼児園で、もつと椿を咲き誇らせ、分家を大きく育てる作戦だ。

また先日、自主防災会会長らと私も議会が意見交換会を開いたが、清流地区の方々には九頭竜川氾濫を想定すれば、高台に逃げるとなると松岡公園しかないと言われる。しかし、これでは遠すぎるし、屋根のある建物も

ない。西幼児園を多少リノベーションし、避難場所としてそのまま残し生かす。歴史の発信と防災の一石二鳥である。



令和5年3月末日をもって閉園の西幼児園



松川 正樹 議員

【その他の質問5点】学校のあり方検討委員会のアンケート考察に関して保護者の求める学校の適正規模の理由を吟味する。

答 議会代表の委員を通して質問を。

問 地域住民の観点から気づかされたこと。

答 今後もあり方委員会に様々な提案を。

問 教員の悉皆調査は意義深い。

答 皆さんの議論も交えていいものにしていただきたい。

問 アーツセンター&レジデンスプロジェクトの成功のため

に。

答 町内外県外海外に発信していきたい。

問 残されたラッキ

ーの再利用を。

答 民間なので回答は難しい。

【その他の質問5点】学校のあり方検討委員会のアンケート考察に関して保護者の求める学校の適正規模の理由を吟味する。

問 生活実感調査を基に支援対策を

答 生活実感調査を基に支援する

問 コロナ禍で町民の生活実感調査を実施した。結果から経済支援は下支えとして必要。今後は心理・精神的ケアと人とのつながりを盛り込み、幸福感ある施策が必要。今後町方針の柱の一つにしては。

町長 生活支援、経済支援は引き続き対応。孤立・孤独対策や人とのつながりなど参加の仕組みなどを町民にしっかり発信しながら進めていく。

問 今後は地域の連帯、共生社会、コミュニティの構築に向けた取り組みや、文化芸術、創造・寛容性の強化策が必要。

生涯学習課長 地域コミュニティ、公民館、スポーツ活動や文化芸術、寛容性強化を含む共生社会づくりを進める。

◆高齢者福祉計画の更なる推進充実を

問 計画策定のアンケートから、要介護への進行防止、健康寿命の延伸、さらには支え合いの共生社会や、地域ケアシステム構築の環境づくりの必要性が示されたが。

福祉保健課長 要介護

の原因は衰弱や転倒であり、高齢者の介護予防と保険事業を個々の医療情報も加味し一体的に実施。地域包括ケアシステムの認知向上と在宅支援を進める。

◆学校2学期・コロナ対策の再確認

問 コロナ禍の学校再開となり、感染対策としてまず家庭へ持ち込まない。そして家庭と学校間、学校内クラスターと、対策の再確認は。

教育長 感染経路断として、家族の感染しない行動。学校へ持ち込まない。学校での基本予防対策。学校行事の無観客など、県指針に基づいて対応する。



生活実感調査報告書



上田 誠 議員

問 学校再開、コロナ対策は万全か

答 状況を見て判断

問 感染リスクの高い給食では給食は当たり前。分散給食や時間差給食、午前と午後に分散登校して給食時間を無くす学校もある。また、県は部活動の制限も指摘しているが、本町の取り組みは。

教育長 給食時間を二つに分けるのは校時表を全て変える必要があり、時差登校も学校運営上非常に無理。状況



マスクをして通学する小学生

はまだそこまでではない。部活動は緊急事態宣言下ではないことになっていくが、新入戦が10月にあるので、感染防止に十分配慮の上再開している。

◆幼児園の洪水対策は急務

問 この夏日本列島を襲った長雨は、最大1時間に80ミリも降り、甚大な被害をもたらした。これは決して対岸の火事ではない。ハザードマップでは、新民間園建設予定地は浸水域にあり、存続する東幼児園は河岸浸食域となつている。そこで、新園予定地に盛土を、東園には九頭竜川に堤防建設を行う必要がある。子どもの安心・安

全を確保するために。子育て支援課長 民間園は、日頃からの避難訓練や情報発信など複数の災害対策を行い、町もしっかりと連携して園児を守る。盛土については計画していない。



滝波登喜男 議員

建設課長 東園の堤防は全くないのではなく、低いものがある。議会の指摘もあり国交省に要望しているが、何の返事もない。先が長いと思われる。

【その他の質問】SDGsは「誰一人取り残さない社会を実現しよう」という理念の基、官民協働で行うことが重要では。

答 総合戦略の中でSDGsの目標と繋げて計画した。意識して取り組む。

問 米価の暴落、町の支援策は

答 県や県内自治体を注視していく

問 コロナ禍で米が暴落しているが、国は全くの無策で今日に至っている。県JAの前渡金は、ハナエチゼン等で、一俵9000円と生産原価を大きく下回った額が示されている。生産者からは、今後の営農への不安が広がっているが、町独自の支援策をすべきだ。

農林課長 米価の下落は、新型コロナ感染症にもよるが、長年の米離れも影響している。さらに、国の在庫も増大中で下落は避けられない。今回は国の緊急対策も取られていない

◆コロナ災害への町の立場

問 先日、県内でもコロナ感染爆発寸前との報道があった。国は中等症以下は医師の判断以外、自宅療養とした。福井県は別と断れない状況にある。これらへの町の対応計画はあるのか。

福祉保健課長 陽性が確認されれば、保健所が対応にあたることになつている。濃厚接触者も、近所や友人を頼り、民間のサービスの宅配活用と、体制は十分整っている。町としても体制は取れると思う。

◆議会会議への理事者の出席、2週間前ルールとは

問 コロナ感染症にまつわる差別や、障害者児童手当支給に地域差などの報道があるが、本町での対応を質問しようにも、常任委員会には2週間前に質問を準備し、出席要請しないと、この間、理事者の出席はない。異常な事態だ。

町長 2週間前となつたのは、一方的な行政からの話ではなく、議会と協議の上のこと。急な要請では職員

の残業など、しわ寄せにもなることからだ。



新米

の残業など、しわ寄せにもなることからだ。

の残業など、しわ寄せにもなることからだ。

議会・各委員会の議員出欠状況

令和3年6月29日～令和3年9月17日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	松川 正樹	上田 誠	中村勲太郎	金元 直栄	滝波登喜男	齋藤 則男	江守 勲	伊藤 博夫	長岡千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井征一郎	奥野 正司
出席回数	18	21	14	18	23.5	14	25	16	14	17	25	25	18	14
会議回数	18	21	14	18	25	14	25	18	14	17	25	25	18	14
出席率	100%	100%	100%	100%	94%	100%	100%	89%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

No.	日付	会議名	○…出席	×…欠席	—…員外	△…遅・早	研…研修	傍…傍聴	吊…吊事
1	6/29	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	—
2	7/2	県議会広報研修会	○	○	—	△	—	○	○
3	7/5	ITプロジェクト	—	○	—	×	—	○	○
4	7/6	幼保再編検討特別委員会	○	○	○	○	○	○	○
5	7/9	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
6	7/12	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	×	—
7	7/14	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○
8	7/16	ITプロジェクト	—	○	—	○	—	○	○
9	7/20	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
10	8/6	総務産業建設常任委員会	○	—	監査	—	○	—	○
11	8/10	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
12	8/12	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○
13	8/23	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
14	8/23	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
15	8/30	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
16	8/30	本会議	○	○	○	○	○	○	○
17	8/30	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
18	9/1	ITプロジェクト	—	○	—	○	○	—	○
19	9/6	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○
20	9/7	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○
21	9/8	本会議(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○
22	9/8	議会広報特別委員会	○	○	—	○	—	○	○
23	9/9	本会議(第一審議)	○	○	○	○	○	○	○
24	9/13	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
25	9/13	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○
26	9/17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
27	9/17	本会議(第三審議採決)	○	○	○	○	○	○	○
28	9/17	議会広報特別委員会	○	○	—	○	—	○	○

議会と語ろう会についてのお知らせ

毎年4月・10月に開催させて頂いております「議会と語ろう会」ですが、新型コロナウイルス感染症再拡大の状況を鑑み、年度内での開催を考えております。ご理解たまりますよう、お願い致します。

問 今年の男女共同参画基本計画改定は誰もが尊重し合える共生社会の町に



酒井 和美 議員

問 前回調査と変わった点は。生涯学習課長 県立大学塚本教授からも助言もらい、男性の育児休暇、LGBTQ、SDGsと現状に沿った設問を盛り込み500人対象に実施。

問 基本目標に掲げてきた慣習の見直しや意識改革はどのようなことをされてきたか。生涯学習課長 See

dによる情報発信・川柳募集・学習会・男性向け料理教室。

問 最近ではミソジニー(女性蔑視)犯罪が社会問題化しているとweb上で多く指摘されている。ミソジニーは家父長制秩序意識が社会通念に拡大し形成されたことを指摘する研究があり、人権意識の徹底のみでは意識改革に限界があることが示され、家父長制秩序意識の見直しが求められているが。

生涯学習課長 人権尊重の啓発活動は必要であり、その結果意識は変化した。女性が活躍できる環境が当たり前にならないとミソジニーの解決はならないのではないかと。

問 現在の結婚観や家庭観は明治後半から培われたことが近年の古文書・戸籍研究等により明らかにされている。このような学習機会が必要では。

生涯学習課長 学校教育を中心に人権教育を行ってきた。現状や歴史を踏まえる意味では



今度参考にしたい。**問** 社会の多様化・グローバル化に対応しながら生産性を上げていくにはダイバーシティの形成が必要であることが内閣府経済白書にて示されているが当町の考えは。

町長 誰もが尊重しあっている、すべての人が活躍できる世界基準の社会の実現を計画改定の念頭に置く。共生社会都市宣言も考えていきたい。

議会活動レポート

7/29 オンライン説明会



8/30 議長県町村議会議員会表彰



9/6 タブレット講習



随時更新中!

8/18 町村議会議員研修(オンライン研修)



9/21 交通安全街頭活動 松岡小学校



心繋がる永平寺町議会

お知らせ

あなたが撮った写真を
議会だよりの表紙に
しませんか？

私の永平寺町自慢を募集!

あなたが大好きな永平寺町の季節ごとの風景や、誰も知らない素敵な隠れスポットをご紹介頂いて、議会だよりの表紙にて永平寺町の魅力を発信してください。(議会だよりは2月・4月・7月・10月の季刊発行です。)



写真提供：高村 昭夫さん

応募方法：

メールにて「私の永平寺町自慢」の件名にて、ご住所・お名前・お電話番号、写真を撮った場所を記載し、画像ファイル(jpg、4000×3000px、7MBまで、縦長)を添付の上、下記議会事務局のアドレスまでお送りください。12月20日締切

E-mail:gikai@town.eiheiji.fukui.jp

※お名前と撮影場所を掲載させてください。

※人物が写っている場合には掲載の許可を頂いているものをご提供下さい。

※60~67号で応募していただいたお写真を表紙にさせていただく予定です。

応募多数の場合には、67号裏表紙にて掲載させていただきます。

答える議会 議会改革レポート

ここが変わった!
議会テレビ放送!!



議会と語ろう会にて、議会の見えにくさについて様々なご意見をたまわり、このたび議会放送の在り方について変更させていただくこととなりました。



POINT

議会の翌々月1日より
順次放送します。

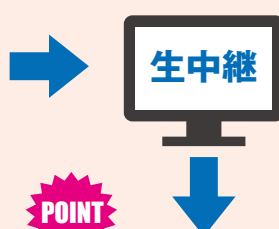
3月議会→5月1日

6月議会→8月1日

9月議会→11月1日

12月議会→2月1日

第5回定例会の放送は
令和3年11月1日より、
一般質問から順次
放送いたします。
こちら「みての!」



1日2回同じ内容を放送



朝6時

再放送
①



夜12時

再放送
②

議会中継
録画予約
しよ!!



※放送日程の詳細は、リモコンの番組表を押してご確認ください。

また今後Youtubeにて議会中継動画を配信予定です。

発行責任者
議長 奥野正司
副議長 酒井和
委員 松川正樹・上田
副委員長 酒井和
委員 滝波登喜男・江守
酒井秀和 江守 勲 誠

議会広報特別委員会委員

(滝波 記)

学校のあり方は、大人の理論だけではなく、子どもに寄り添った答申となることを望みます。地域にとって学校の存続は重要なことなので、今後議会も情報発信してまいります。

9月28日の新聞「上志比中再編至急検討を」という見出し。驚かれた方も多かったと思う。教育長から「少子化の中で学校のあり方」の諮問を受け、5度検討委員会を開催している。答申作成に向けて実施したアンケート調査は、3810人の町民から回答をいただき、大変興味深い。特に小中学生809人、高校生254人からの回答は貴重で大事にしたい。例えば、高校生調査では86%、小中学生は72%が通っていた(いる)小中学校の1学級当たりの児童・生徒数がちょうど良いと答えている。

編集者のひと言